

- (2) ②水道事業について\_2
- (2) ③下水道事業について\_2

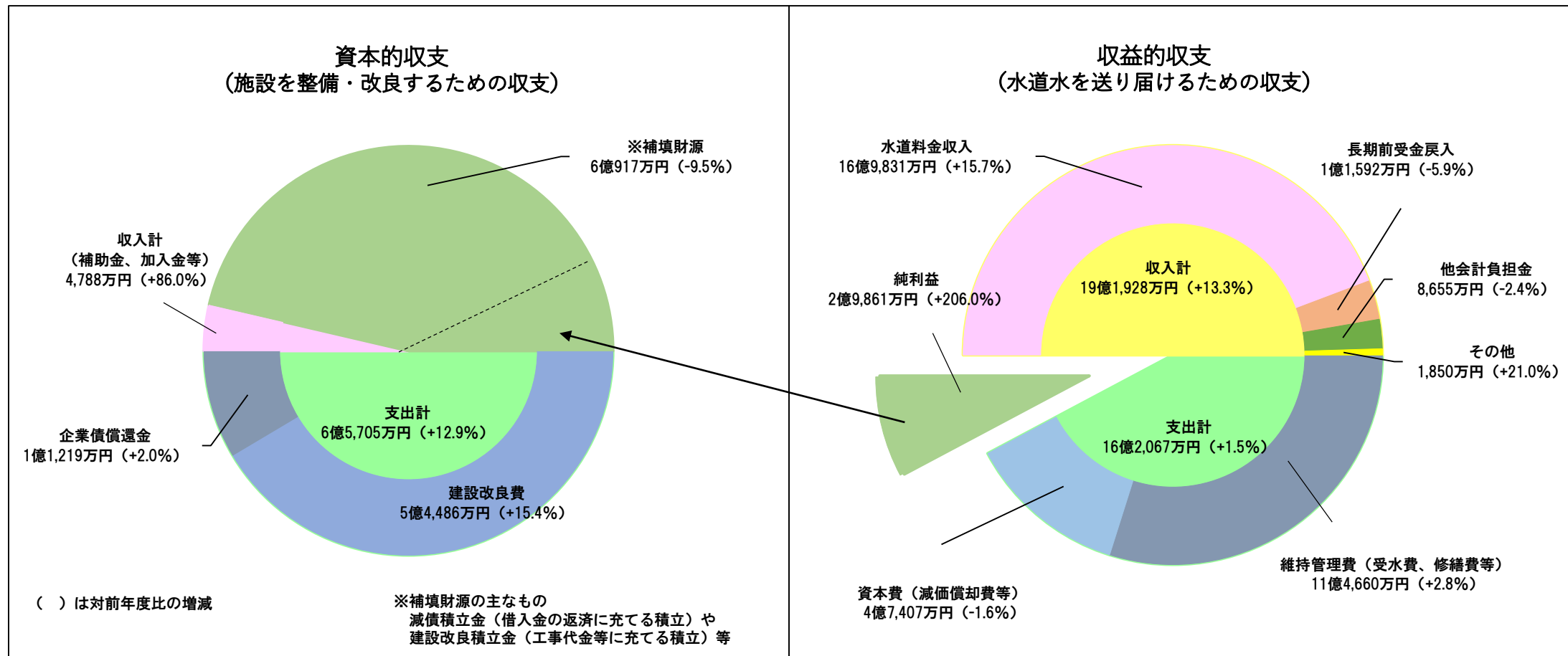
# 上下水道事業 令和3年度決算状況について

上下水道部業務課

# 水道事業の給水人口、配水量等の推移

科目 \ 年度	単位	令和3年度 (A)	令和2年度 (B)	増減 (A-B)	対前年度 比率 (%)
給水人口	人	77,746	78,742	△ 996	98.7
給水戸数	戸	33,153	32,861	292	100.9
年間総配水量	m <sup>3</sup>	10,112,892	10,223,622	△ 110,730	98.9
年間総有収水量	m <sup>3</sup>	8,393,900	8,326,044	67,856	100.8
有収率	%	83.0	81.4	1.6	101.9

# 令和3年度水道事業決算の概要



収益的収支では、令和2年度において新型コロナウイルス感染症に伴う生活支援として基本料金を免除したことから、給水収益が減少しましたが、令和3年度は給水収益が例年並みの水準となり、2億9,861万円の純利益を計上しました。

資本的収支では、建設改良工事等が増額となったこと等から、支出が令和2年度と比較して7,483万円の増となり、収支差引では6億917万円の不足となりましたが、純利益や内部留保資金等で補填しました。

# 下水道事業の水洗化人口、処理水量等の推移

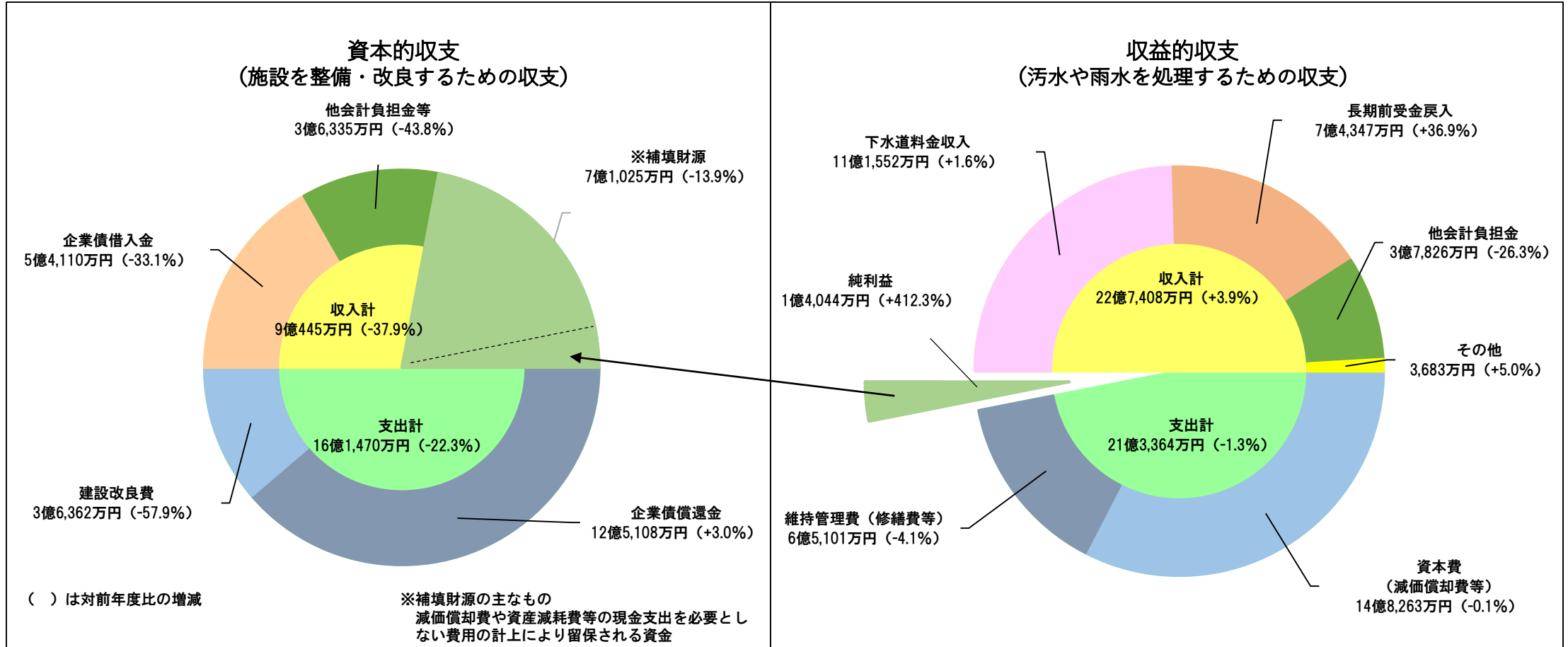
## 公共下水道事業

科目 \ 年度	単位	令和3年度 (A)	令和2年度 (B)	増減 (A-B)	対前年度 比率 (%)
水洗化人口	人	44,723	45,099	△ 376	99.2
水洗化世帯	戸	19,217	18,993	224	101.2
年間総処理水量	m <sup>3</sup>	8,985,730	9,025,680	△ 39,950	99.6
年間総有収水量	m <sup>3</sup>	7,777,987	7,679,706	98,281	101.3
有収率	%	86.6	85.1	1.5	101.8

## 農業集落排水事業

科目 \ 年度	単位	令和3年度 (A)	令和2年度 (B)	増減 (A-B)	対前年度 比率 (%)
水洗化人口	人	348	353	△ 5	98.6
水洗化世帯	戸	116	118	△ 2	98.3
年間総処理水量	m <sup>3</sup>	31,925	32,325	△ 400	98.8
年間総有収水量	m <sup>3</sup>	32,492	32,731	△ 239	99.3
有収率	%	101.8	101.3	0.5	100.5

# 令和3年度下水道事業決算の概要



収益的収支では、令和3年度から、一般会計からの償還元金に充てる繰入金を長期前受金戻入として計上したことから、収入が令和2年度と比較して8,445万円の増となり、1億4,044万円の純利益を計上しました。

資本的収支では、建設改良工事の減に伴い、企業債及び補助金が減額となったこと等から、収入が令和2年度と比較して、5億5,124万円の減となり、収支差引では7億1,025万円の不足となりましたが、純利益や内部留保資金等で補填しました。<sup>5</sup>

# 監査委員の審査意見

## • 水道事業

良好な数値を示し、事業会計は健全経営が保たれている。

今後の課題としては、人口減少や水道需要の減少傾向等により、給水収益は減収していき、さらに建設更新事業等の増加が予測され、経営環境は厳しさを増す。こうした状況でも安全でおいしい水を安定供給するため、計画に基づいた事業運営と、効率的な経営に努められたい。

## • 下水道事業

現在の使用料収入額で維持管理費が賄えておらず赤字経営である。

公営企業として独立採算を目指し利益確保と財政安定を図るため、農業集落排水事業のあり方や、計画的な管路更新、経費圧縮と下水道料金の改定の検討も必要と考えられ、中長期的な改善計画が求められる。